

広島県 商工会地域

中小企業景況調査報告書

第184回

令和8年4～6月期 実績

令和8年7～9月期 見通し

令和8年6月

広島県商工会連合会

中小企業景況調査の概要

1. 調査趣旨	この調査は、中小企業の景気動向を総合的に把握するため、全国の商工会、商工会議所、中小企業団体中央会の3団体内の約19,000企業を対象に四半期ごとに実施されている。調査結果は(独)中小企業基盤整備機構で集約・分析・公表され、中小企業施策立案等の基礎資料として活かされるものである。 広島県商工会連合会では、県内商工会地域の最新景況データを解析、報告書に取りまとめ、商工会の経営改善普及事業が効果的に実施されることを目的として、この報告書を公表する。
2. 調査対象	(対象地区) 県内15商工会 祇園町、広島東、江田島市、呉広域、佐伯、安芸津町、広島県央、三原臨空、大崎上島町、沼隈内海、福山北、福山あしな、神石高原、三次広域、備北 (対象企業) 231社 製造業56 建設業43 小売業68 サービス業64
3. 調査方法	経営指導員による訪問面接調査
4. 調査期間	令和8年4～6月期実績、及び令和8年7～9月期見通し
5. 調査時点	令和8年6月1日

6. DIとは Diffusion Index (景気動向指数)の略。
- 各調査項目について、増加(好転)企業割合から、減少(悪化)企業割合を差し引いた値を示し、「変化の動向」を把握する。
- DIがプラス(+)なら……………強気(楽観)、上昇機運
- DIがマイナス(-)なら……………弱気(悲観)、低下機運
- 例えば、売上高で回答割合が、増加50%、不変30%、減少20%の場合、 $DI = 50 - 20 = 30$ となり、全体としての経営者の強気(楽観)度合いを表している。
7. 表記基準 変化の動向(改善、悪化など)を解説する場合に用いた表記基準は次のとおり。
- 「横ばい」 0を基準に±2ポイント未満
- 「小幅、やや」 0を基準に±2～8ポイント未満
- 「大幅、大きく」 0を基準に±8ポイント以上
8. その他 この集計値は、全国商工会連合会が提供する全国集計を基に、広島県商工会連合会の集計書式に収めて編集したものである。
- (参考) 全国及び広島県内の経済動向について、その他機関による調査資料
- (独)中小企業基盤整備機構 (3団体を含む全国版報告書)
https://www.smrj.go.jp/research_case/research/survey/index.html
 - 中国経済産業局 (中国地域の経済動向)
<https://www.chugoku.meti.go.jp/toukei/keiki/keiki.html>
 - 広島県 (広島県経済の動向)
<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/soshiki/75/1244079054510.html>

1. 調査結果のポイント

(1) 全国のポイント

※(独)中小企業基盤整備機構「第184回(2026年4～6月期)調査結果のポイント」より

・中小企業の業況判断DIは、4期連続して低下

全産業の「業況判断DI(前年同期比)」「(2026年6月1日時点)は、前期(2026年1-3月期)から1.1ポイント減(▲18.7)と4期連続して低下。産業別では、サービス業で0.9ポイント増(▲14.5)と上昇したが、建設業で8.3ポイント減(▲19.6)、製造業で0.7ポイント減(▲16.6)、小売業で0.5ポイント減(▲27.0)、卸売業で0.1ポイント減(▲15.2)と低下している。すべての産業において、来期見通しが低下している。

・仕入単価DIと売上単価DIの上昇幅に差

「原材料・商品仕入単価DI(前年同期比)」は、全産業で78.1(11.6ポイント増)と大幅に上昇。また、「売上単価・客単価DI(前年同期比)」も、全産業で21.6(6.8ポイント増)と上昇しているが、仕入単価DIの上昇幅とは差がみられる。

・中東情勢や原材料事情に言及するコメントが増加

中東情勢や原材料事情に言及するコメント(以降、「中東・原材料コメント」とする)は、前期(2026年1-3月期)と比べると約2.5倍の1,711件に増加。産業別の総コメント数に占める割合は、製造業で40%(21ポイント増)、建設業で44%(30ポイント増)、サービス業で30%(15ポイント増)など、すべての産業で上昇している。

(2) 広島県のポイント

・県内景況はマイナス圏が続くも、足元は全国をやや上回る水準

広島県の全産業業況DIは、R8.1-3期の▲14.5からR8.4-6期は▲15.3へ小幅に悪化し、依然としてマイナス圏で推移している。一方、全国は同時期に▲11.4から▲17.5へ大きく悪化しており、R8.4-6期では広島県が全国を2.2ポイント上回る水準となった。来期R8.7-9期の見通しは、広島県▲16.8、全国▲18.3と、いずれも弱含みが続く見込みである。

・仕入価格の上昇が全業種で高水準、特に建設業・製造業で負担が重い

広島県商工会地域では、R8.4-6期の仕入単価DI(前年同期比)が、製造業83.3、建設業88.1、小売業79.5、サービス業80.6と、全業種で極めて高い水準となった。特に製造業は前期から14.0ポイント増、建設業は23.0ポイント増と大幅に上昇。材料価格の上昇や入手難が経営を強く圧迫しており、全国同様に、原材料高・中東情勢・原油関連資材不足の影響を受けている。

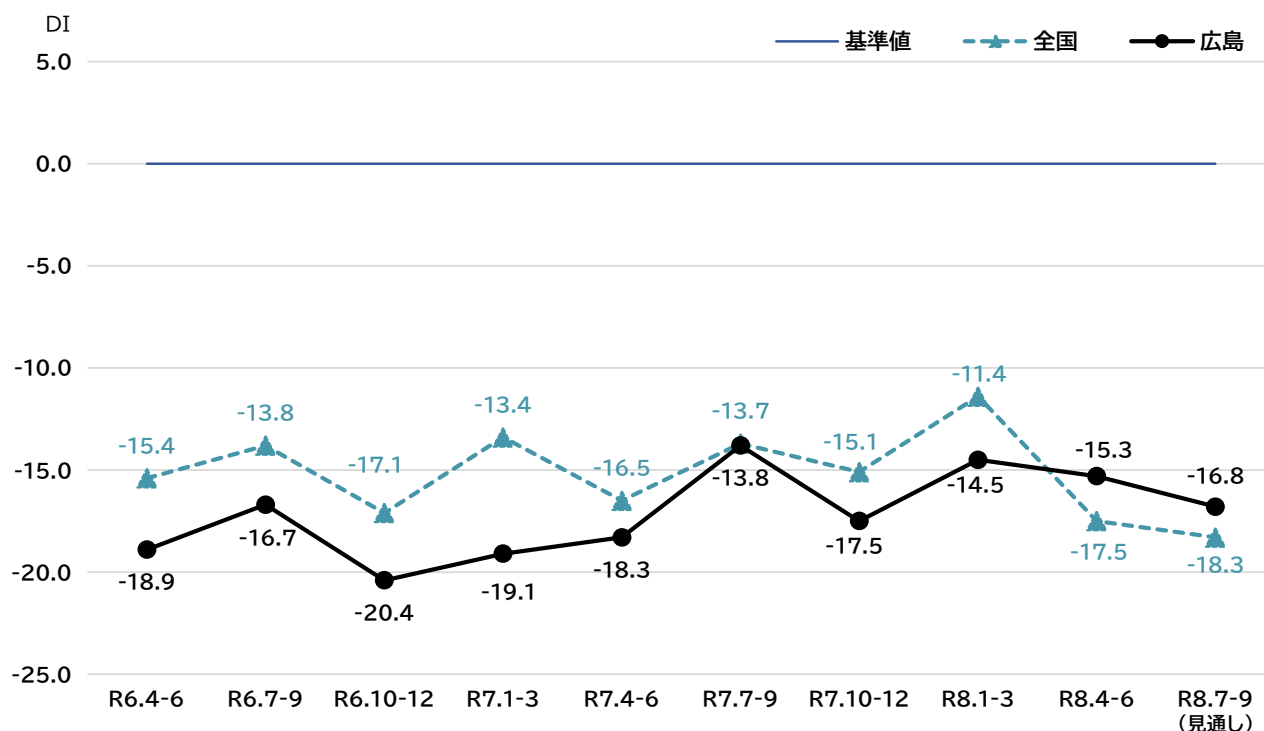
・売上は一部改善するも、採算は厳しく「売上増＝利益改善」とはなっていない

広島県商工会地域では、R8.4-6期の売上DI(前年同期比)が、製造業は前期から7.4ポイント改善、小売業は9.4ポイント改善、サービス業も7.6ポイント改善し、建設業は▲2.4ポイントと微減にとどまった。しかし、採算DIは小売業とサービス業がほぼ横ばい、製造業は5.4ポイントの悪化、建設業では大幅に26.0ポイント悪化しており、価格転嫁がコスト上昇に追いつかない状況が続いている。

産業全体の概況

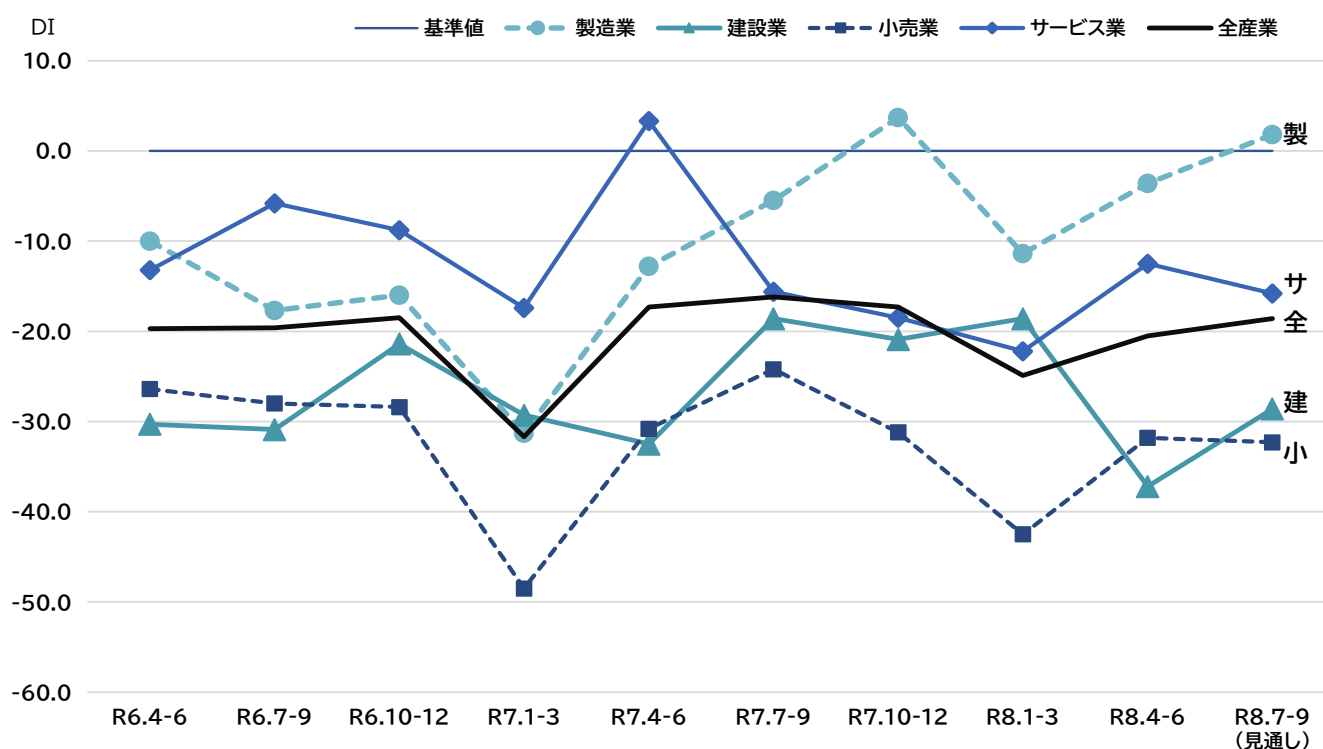
2. 広島県と全国(全産業) ※商工会、商工会議所、中小企業団体中央会の3団体データを含む。

広島県と全国(全産業)業況DI推移 - 前期比・季調済 -



3. 広島県(産業別) ※商工会地域のみ

広島県(産業別)業況DI推移 - 前期比 -



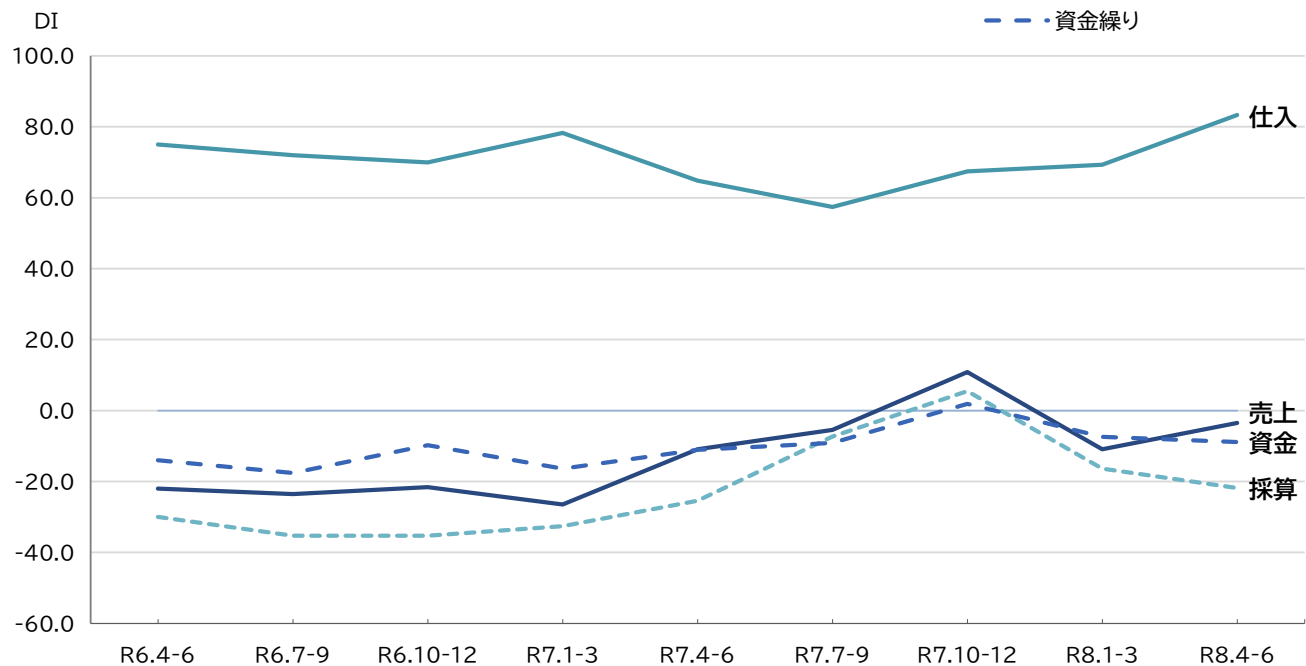
製造業（商工会地域）

1. 主要景況項目の推移 -前年同期比-

製造業 DI		(前期)	(今期)	(来期見通し)	
主要項目	R8.1-3	R8.4-6	前期との比較	R8.7-9	今期との比較
売 上 額	-10.9	-3.5	↗	-10.7	↘
原材料仕入単価	69.3	83.3	↗	75.9	↘
採 算	-16.4	-21.8	↘	-18.2	↗
資 金 繰 り	-7.4	-8.9	→	-1.8	↗

広島県 製造業

主要景況項目の推移 -前年同期比-



企業のコメント

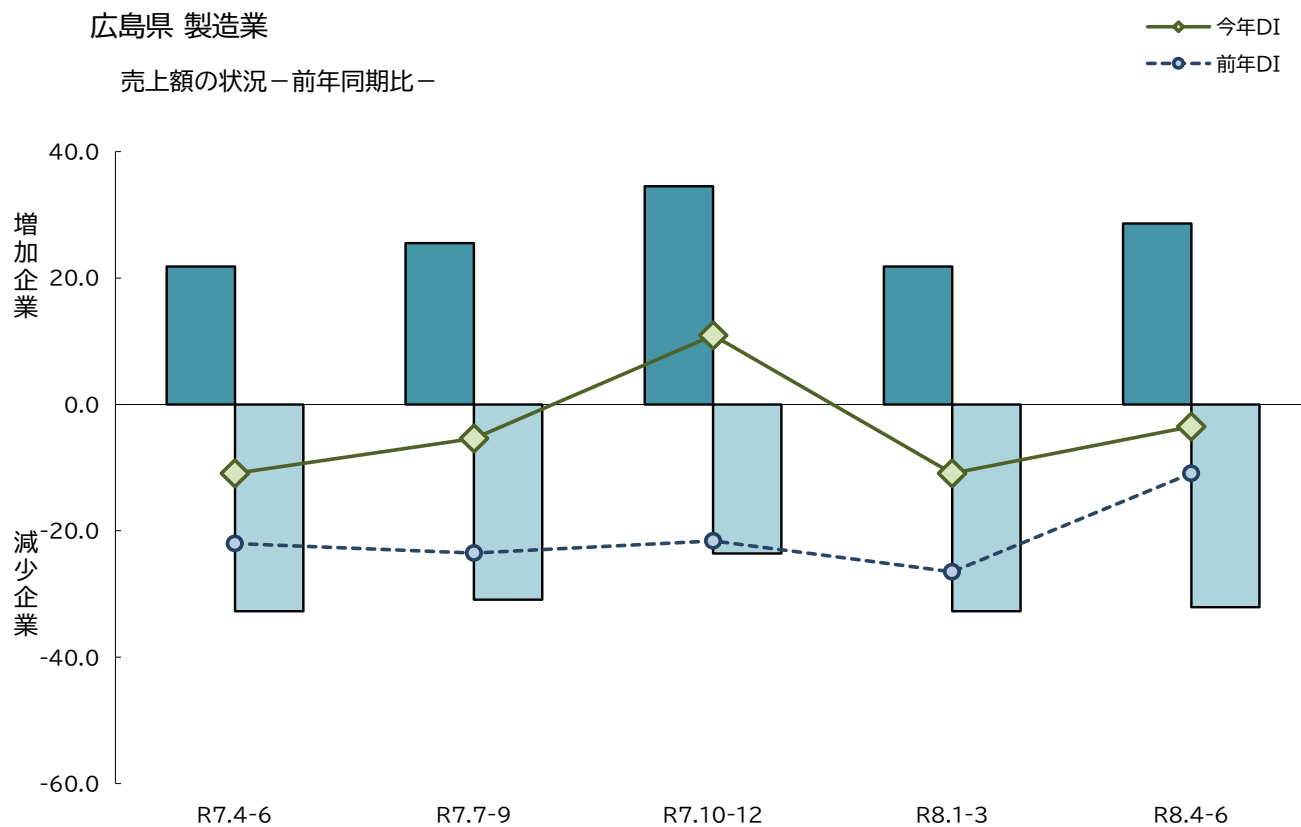
- ・ 春先の原材料等、値上がりを受けて約半数の顧客と価格交渉を行い5月分より10～15%の値上げを実施することになり好転の兆し有り。しかし、中東情勢の影響によりナイロン袋、ボンドなどの調達が困難になっている
- ・ 今期、来期共に受注数はあるが、材料や外注からの値上げが予定されているため、どこまで売上等に影響が出るのかが分からない。
- ・ 石油不足が原材料等の高騰につながっているが特段の対策がなされていないため、①材料不足による生産停止ひいては従業員出勤停止の危機、②価格高騰に対する価格転嫁率の鈍化による企業負担増大、がある。
- ・ 一部ではあるが資材が入手しにくかったり、発注しても止められる資材が出てきている。価格も見積りで出ないこともあり、製品の価格をあげないといけない時期が来ている様である。
- ・ 原材料だけでなく、包材費やガソリン代の高騰により、商品転化が難しいため、前年同期に比べ悪化している。また、一般の方々の経済事情にもよるところがあり、厳しい状況が続いている。
- ・ 小規模製造業者はよりニッチで機能性に優れた商品開発が強いられている。またDXやAIの進化により厳密な適正数値が出せることが一般化している。それを踏まえて、生産計画や事業計画に取り入れる必要がある。
- ・ 仕事量に変化なし。刃物等の消耗品価格高騰で追い打ち。

製造業（商工会地域）

2. 売上額(加工額) -前年同期比-

広島県 製造業

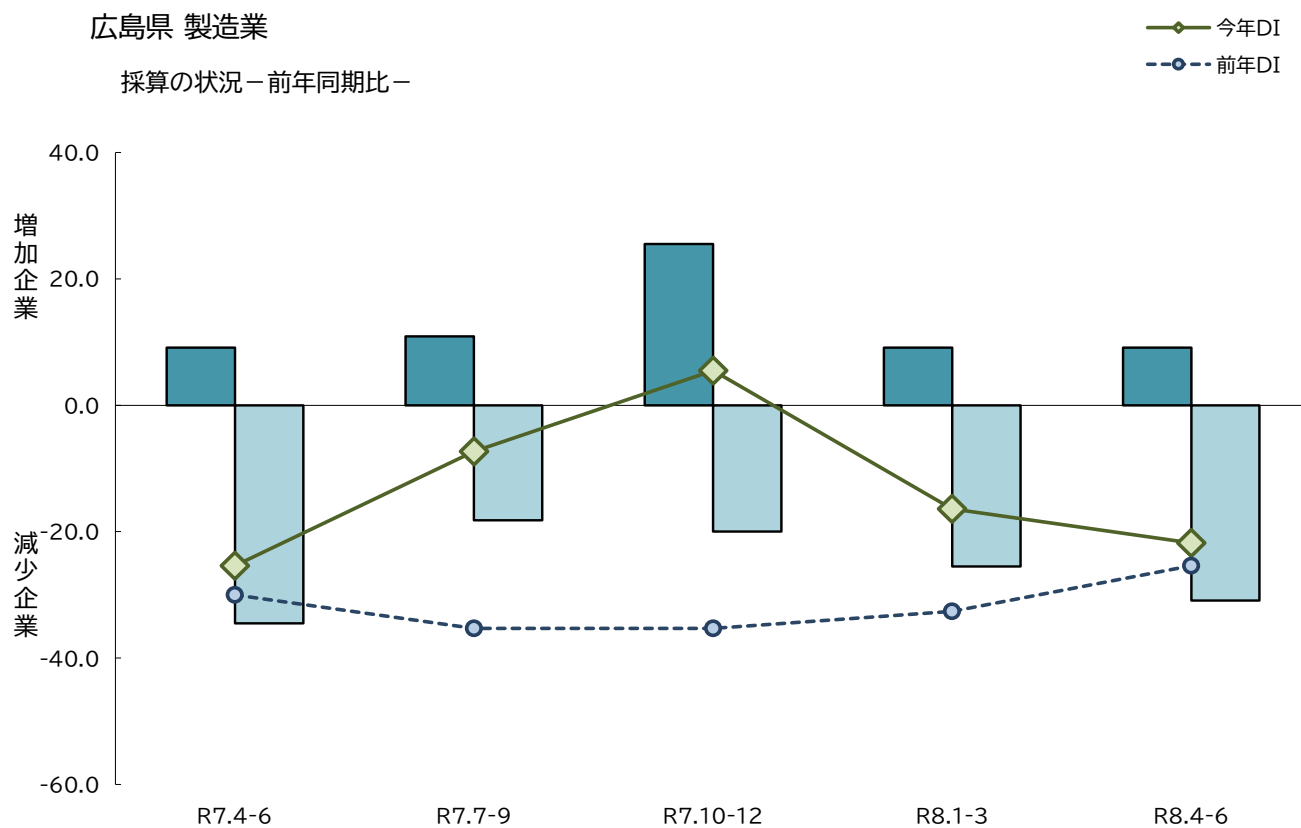
売上額の状況－前年同期比－



3. 採算(経常利益) -前年同期比-

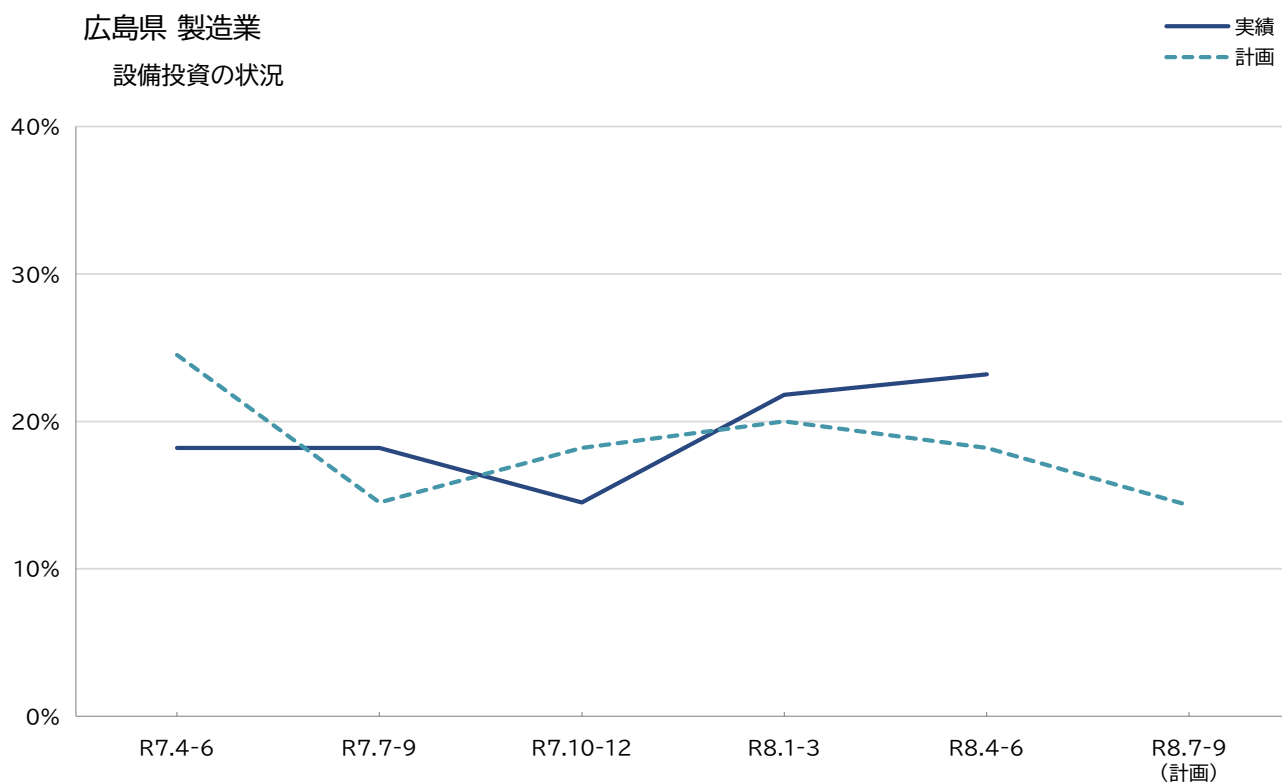
広島県 製造業

採算の状況－前年同期比－

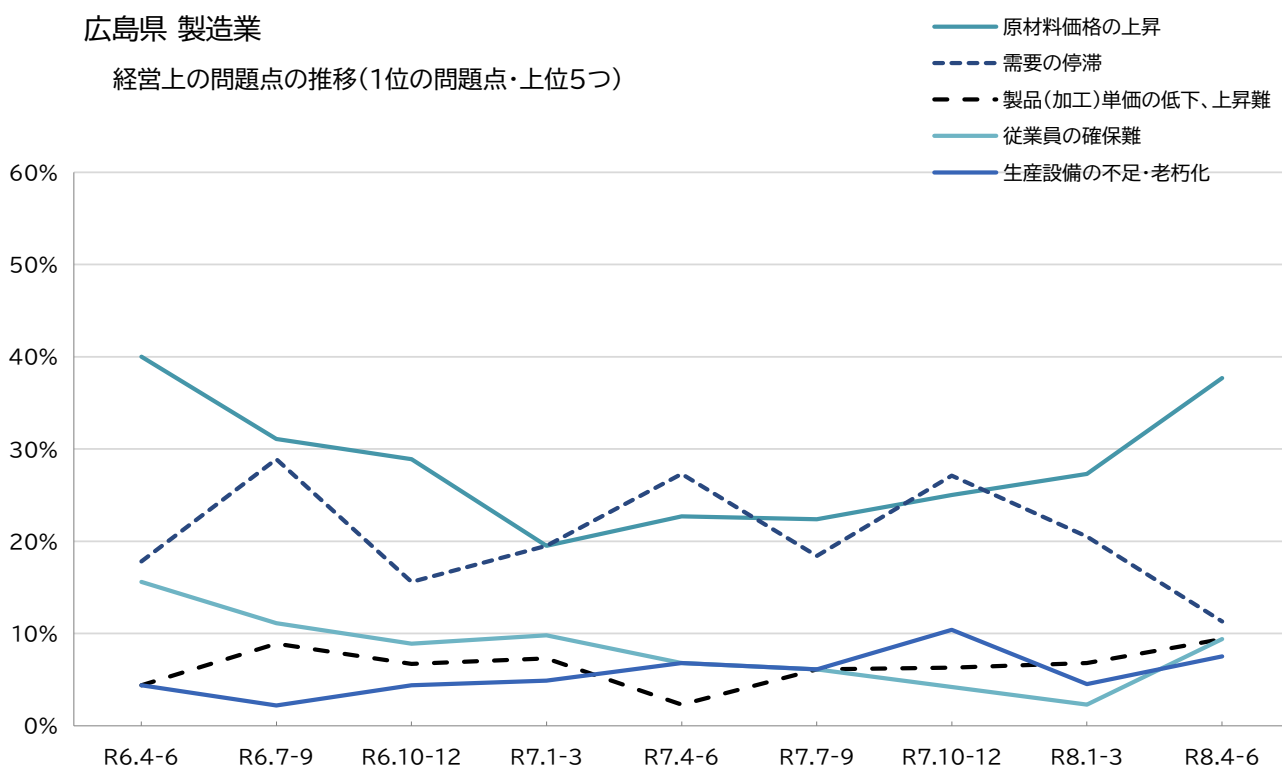


製造業（商工会地域）

4. 設備投資の状況



5. 経営上の問題点（1位の問題点・上位5つの推移）



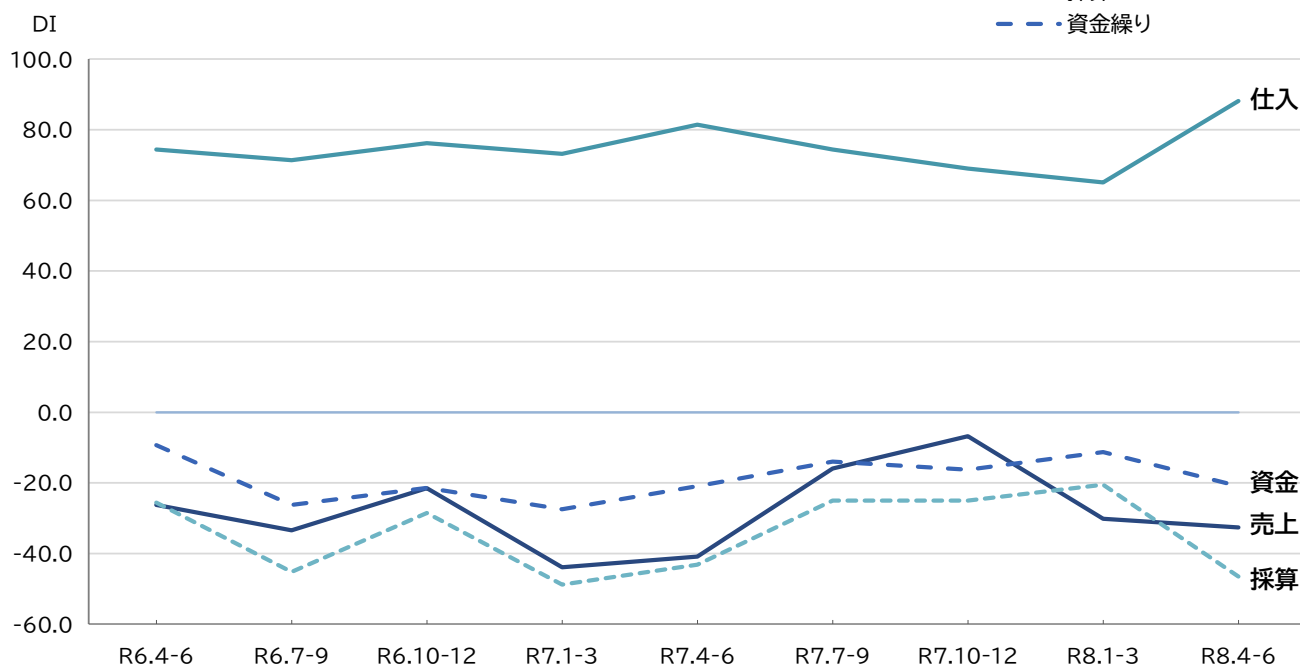
建設業（商工会地域）

1. 主要景況項目の推移 -前年同期比-

建設業 DI	(前期)	(今期)	(来期見通し)		
主要項目	R8.1-3	R8.4-6	前期との比較	R8.7-9	今期との比較
売上額 (完成工事額)	-30.2	-32.6	↘	-27.9	↗
材料仕入単価	65.1	88.1	↗	83.3	↘
採算	-20.5	-46.5	↘	-41.8	↗
資金繰り	-11.3	-20.9	↘	-25.5	↘

広島県 建設業

主要景況項目の推移 -前年同期比-



企業のコメント

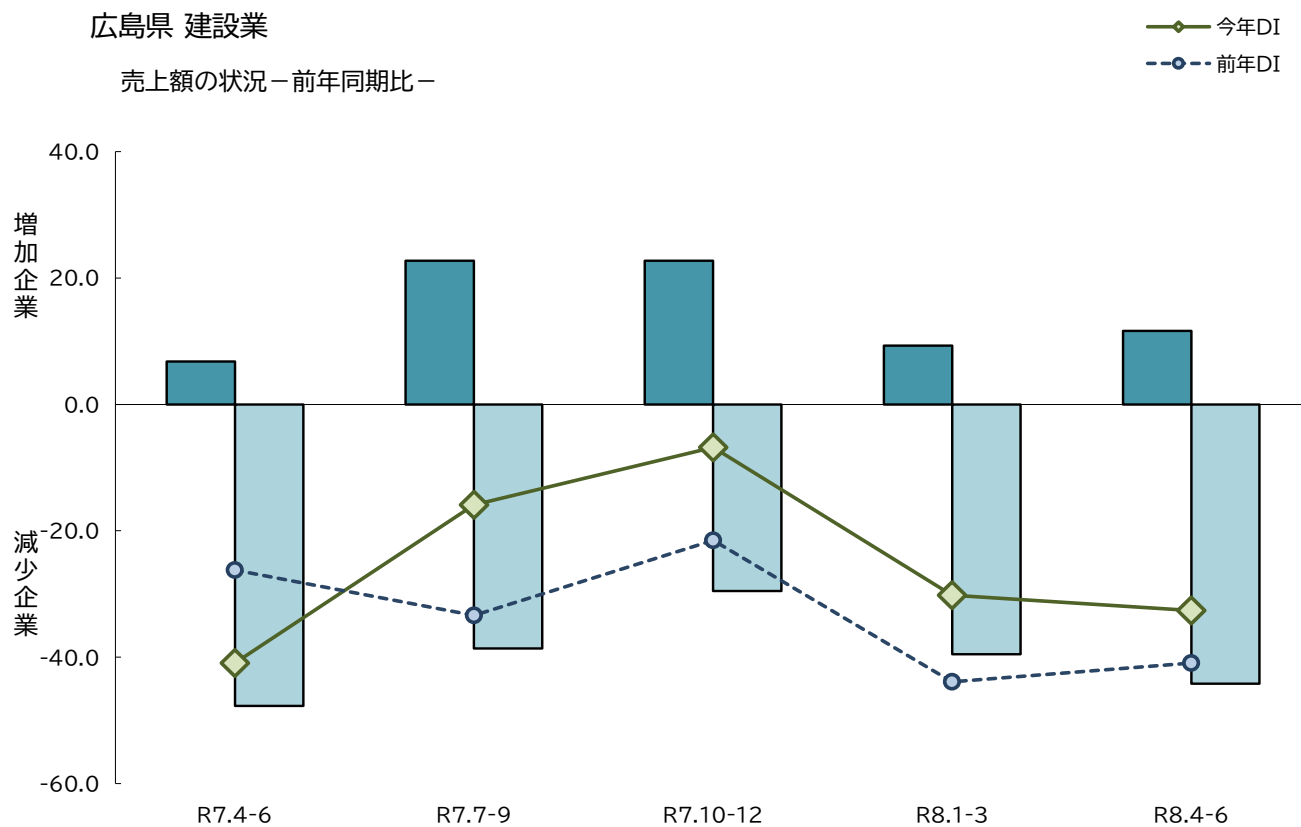
- ・ 3月の樹脂関連の情報により、在庫確保を迫られ、一定の負担がある。仕入先との取引が長いため配慮はして頂いているものの、メーカーの出荷制限・停止によりさらなる入荷遅れがおこる不安がある。
- ・ 塗料（錆止材料・防水材）・溶剤・養生材不足、入荷不足が深刻な問題です。加えて金利上昇・社会保険料・税負担の増額が経営を圧迫しています。
- ・ 中東情勢の影響を受けており、材料の入手が困難な上に価格は高騰し、非常に不安定で先の見通しが立てにくい状況です。又、現状が長期化する可能性も高く、更なる影響を懸念しています。
- ・ ナフサ不足で塩ビの雨樋を扱うので材料の納期遅れがひどく、また供給制限があり、そのうち価格上昇が決まっているので問題点が多いです。
- ・ 人員不足のため現場の回りが悪い。
- ・ 顧客から直接請けたものは材料価格の上昇分等を反映出来ているが、下請けの常用で入る工事の日当は依然として上昇していない。
- ・ 資材等の物価・人件費の引き上げに伴い、利益率が悪化。人手不足の業界であるが、物価や人件費の上昇幅に対して受注金額は大きく上がっていない。

建設業（商工会地域）

2. 売上額(完成工事額) -前年同期比-

広島県 建設業

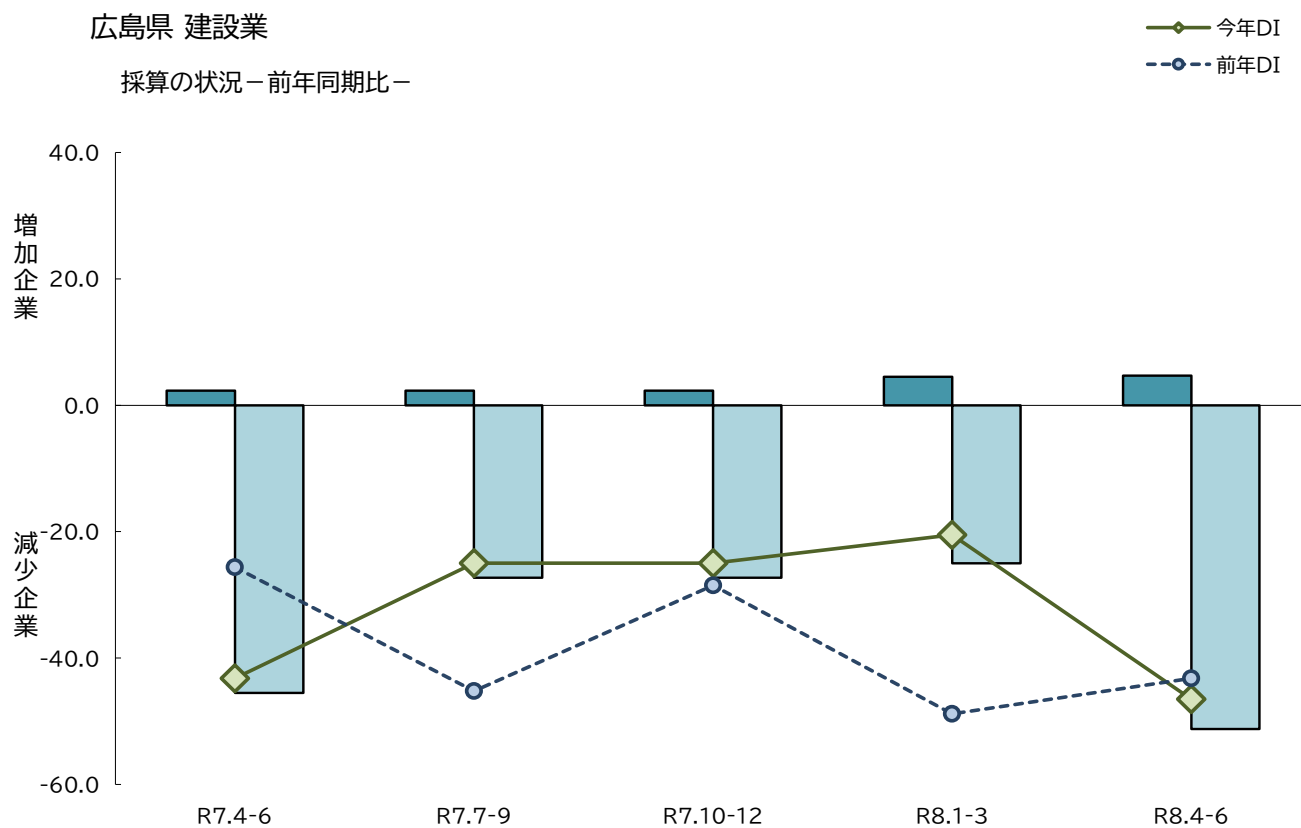
売上額の状況－前年同期比－



3. 採算(経常利益) -前年同期比-

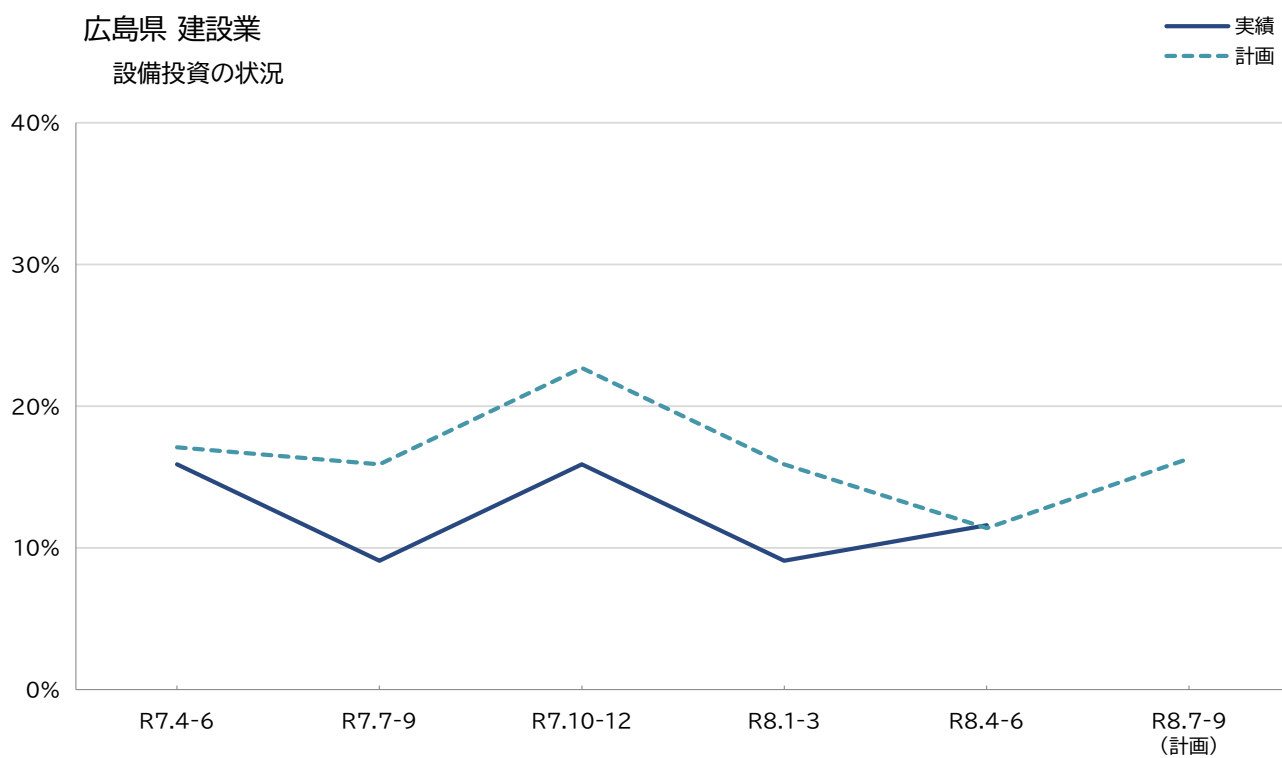
広島県 建設業

採算の状況－前年同期比－

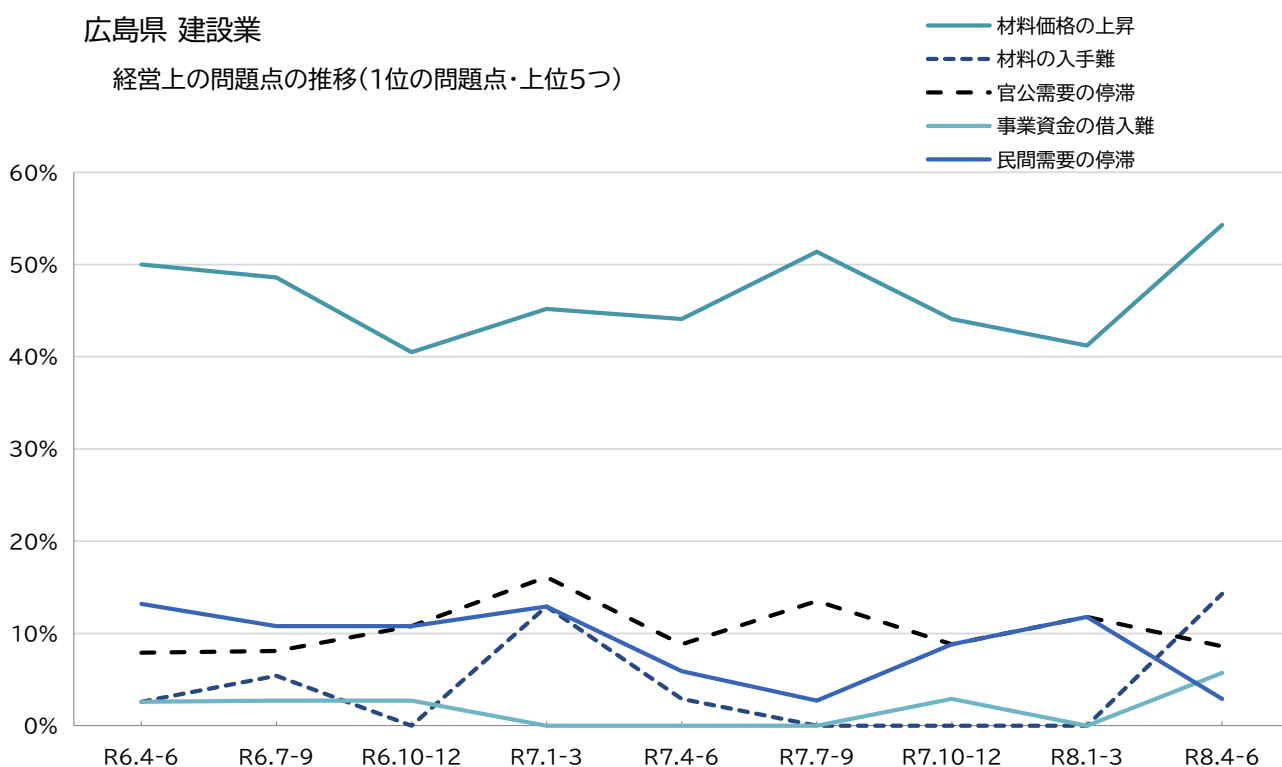


建設業（商工会地域）

4. 設備投資の状況



5. 経営上の問題点（1位の問題点・上位5つの推移）



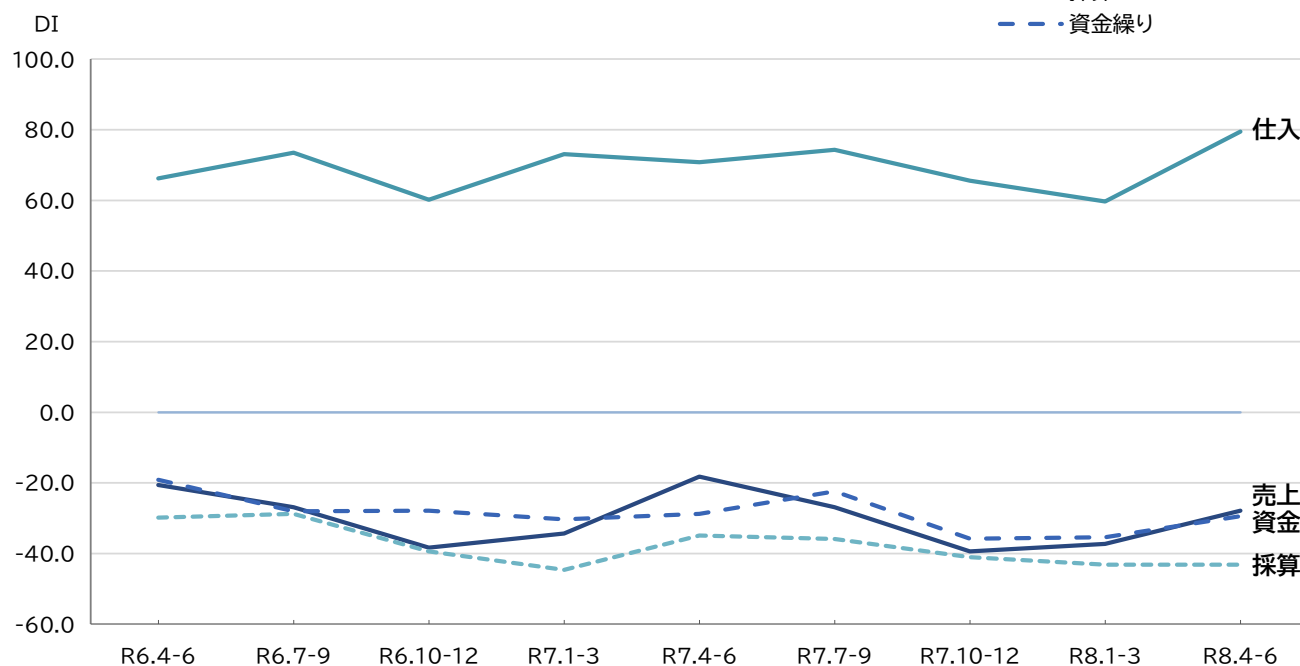
小売業（商工会地域）

1. 主要景況項目の推移 -前年同期比-

小売業 DI		(前期)	(今期)	(来期見通し)	
主要項目	R8.1-3	R8.4-6	前期との比較	R8.7-9	今期との比較
売 上 額	-37.3	-27.9	↗	-23.6	↗
商品仕入単価	59.7	79.5	↗	75.0	↘
採 算	-43.2	-43.2	→	-39.7	↗
資 金 繰 り	-35.4	-29.4	↗	-32.4	↘

広島県 小売業

主要景況項目の推移 -前年同期比-



企業のコメント

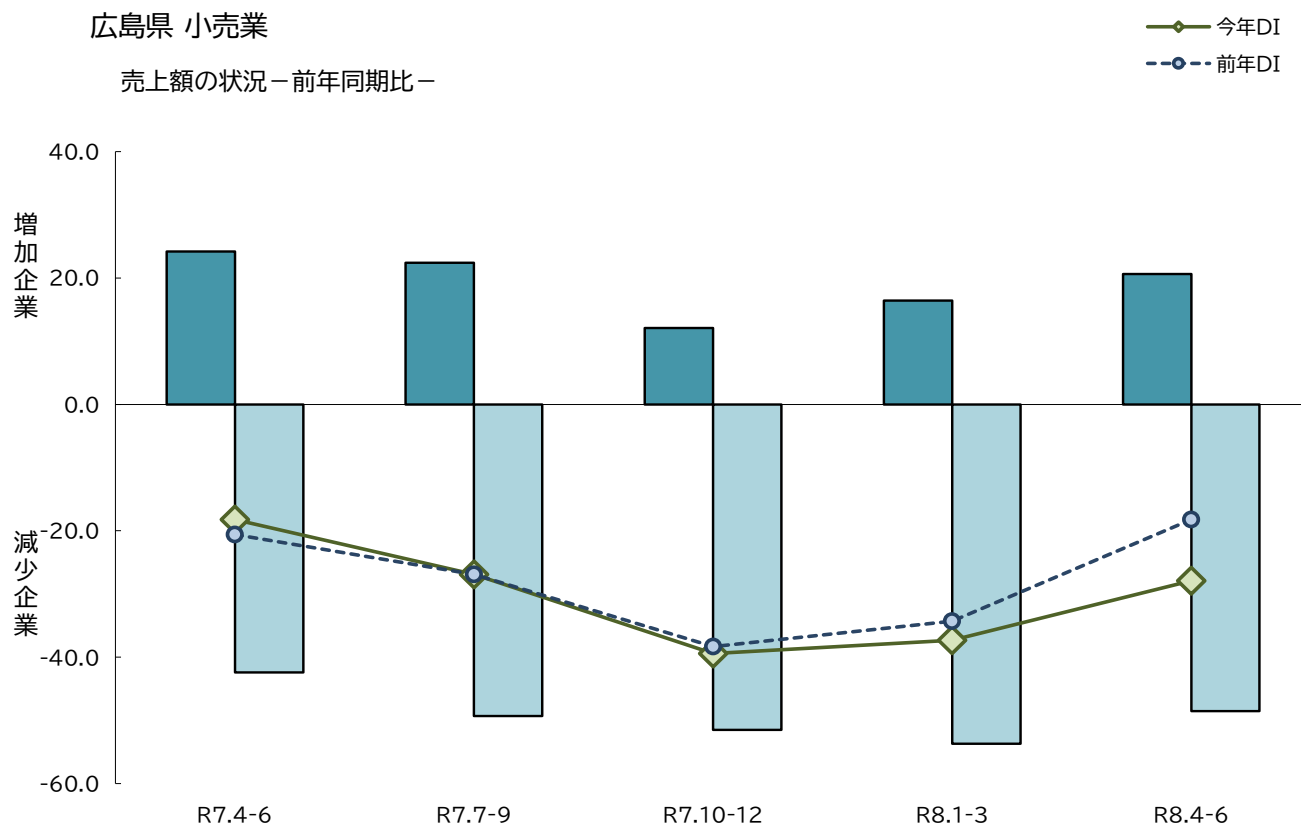
- ・ 今期、新商品の投入と価格改定により売上高の増加となりましたが、社会、世界情勢の影響が仕入れ値に大きく反映しており先行きは不安です。
- ・ 今期は暑くなるのが早いためか、5月中旬以降から客数が減少した。お客様が購入される商品にも偏りが大きいし、甘い商品の売れゆきが悪い。ラインナップに大きく差をつけるわけにいかないのが悩ましいところ。
- ・ 昨今の物価上昇により仕入単価は上昇するも、消費者にとって車にかかる費用の優先順位が低くなり、販売につながりにくい
- ・ 物価の上昇と長引く需要の停滞が続き、販売上昇が困難になっている。踏ん張りどころであるが、大型店や通販への流出に加え、代金の回収も悪化している。
- ・ 戦争の影響で入荷未定の商品が倍増している現状に不安
- ・ やはり原油不足による影響がじわじわと商品の生産や包装資材の高騰に拍車をかけ始めていて、輸入品はもちろん、日本製品も値上がりしている。今夏から年末にかけてどうなっていくのか非常に心配しています。
- ・ 原油高による様々な価格高騰が大きく影響を受けており、仕入や売上に至るまで自社又は顧客の購買意欲が低下している。約1割の利益減少に歯止めをかけるべく新規事業を展開し始めた。今後の展開に期待している。

小 売 業（商工会地域）

2. 売上額 -前年同期比-

広島県 小売業

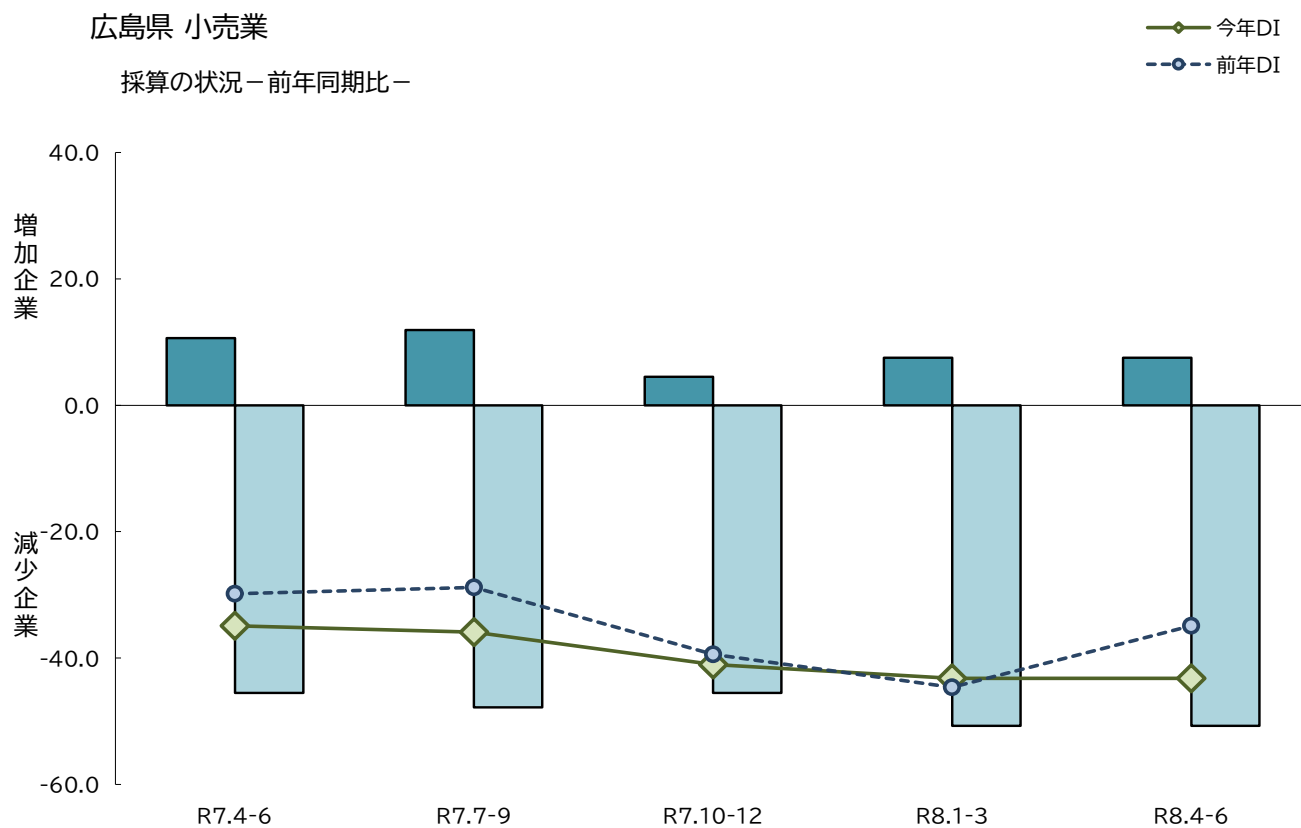
売上額の状況－前年同期比－



3. 採算(経常利益) -前年同期比-

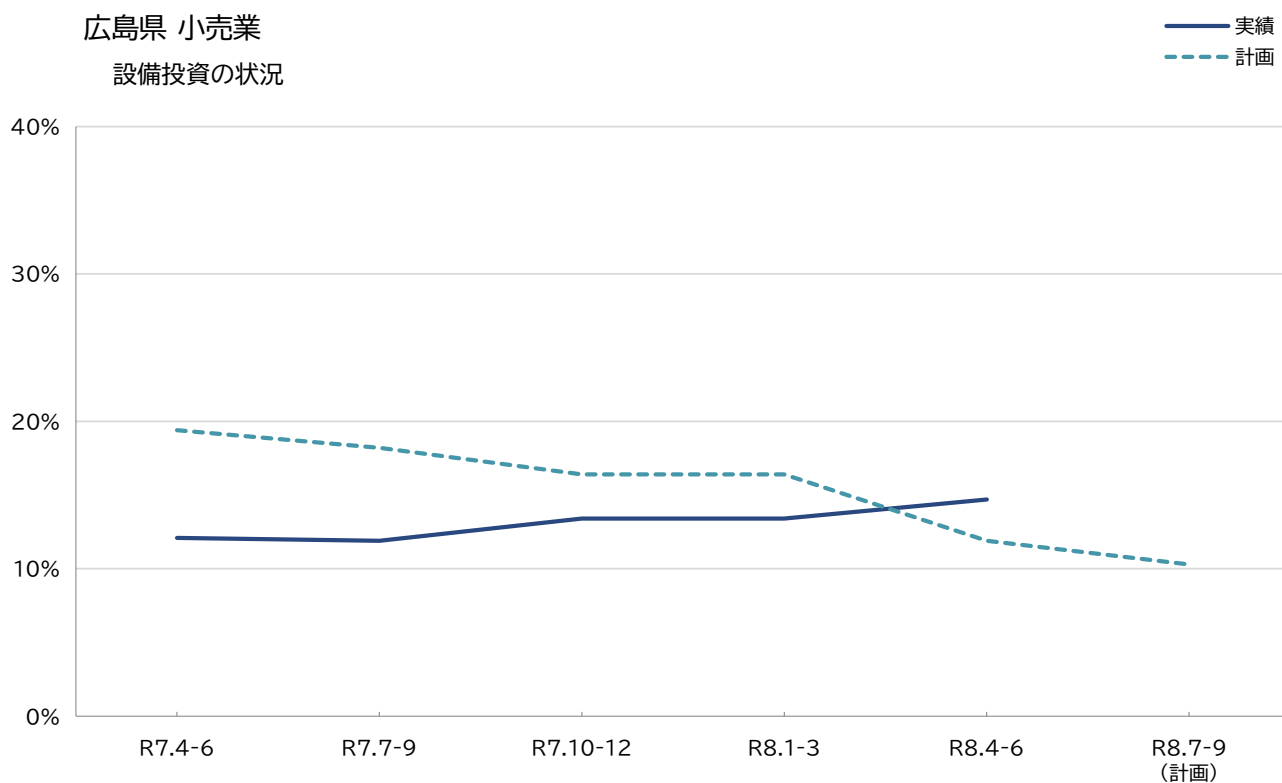
広島県 小売業

採算の状況－前年同期比－

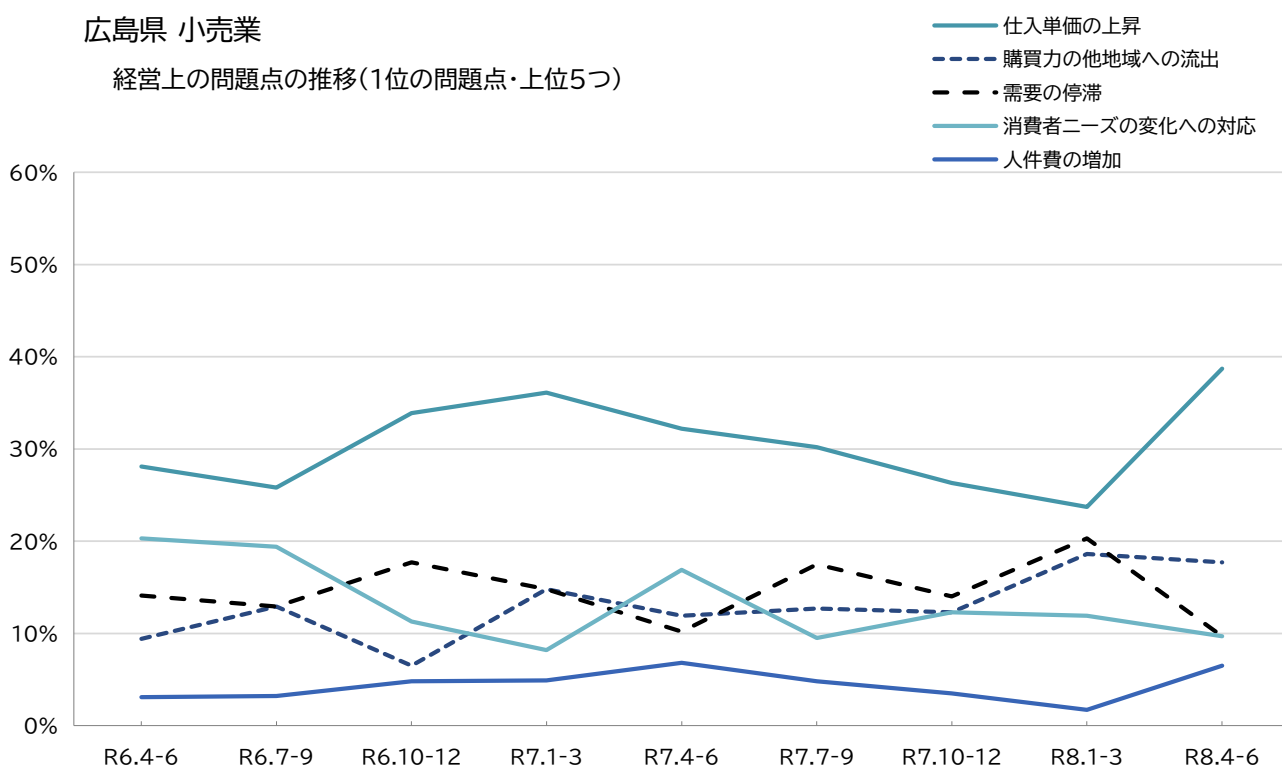


小売業（商工会地域）

4. 設備投資の状況



5. 経営上の問題点（1位の問題点・上位5つの推移）



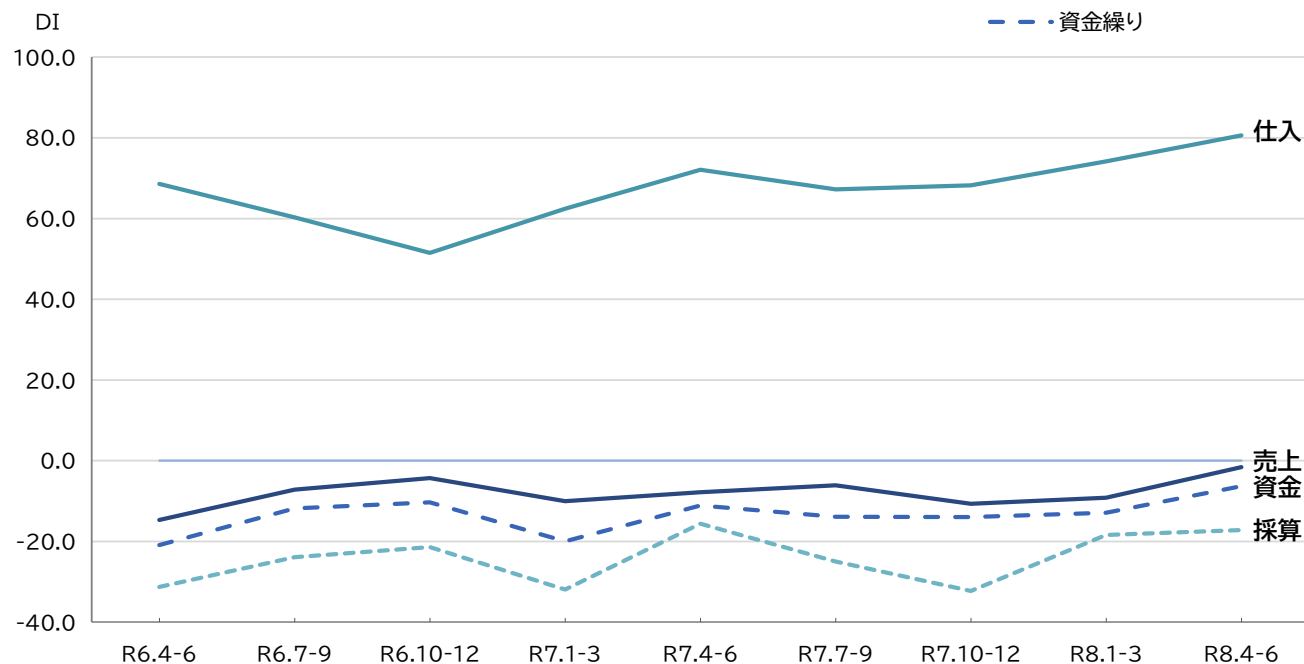
サービス業（商工会地域）

1. 主要景況項目の推移 -前年同期比-

サービス業 DI	(前期)	(今期)	(来期見通し)		
主要項目	R8.1-3	R8.4-6	前期との比較	R8.7-9	今期との比較
売上額	-9.2	-1.6	↗	-12.5	↘
材料等仕入単価	74.2	80.6	↗	75.0	↘
採算	-18.4	-17.2	→	-23.5	↘
資金繰り	-12.9	-6.3	↗	-10.9	↘

広島県 サービス業

主要景況項目の推移 -前年同期比-



企業のコメント

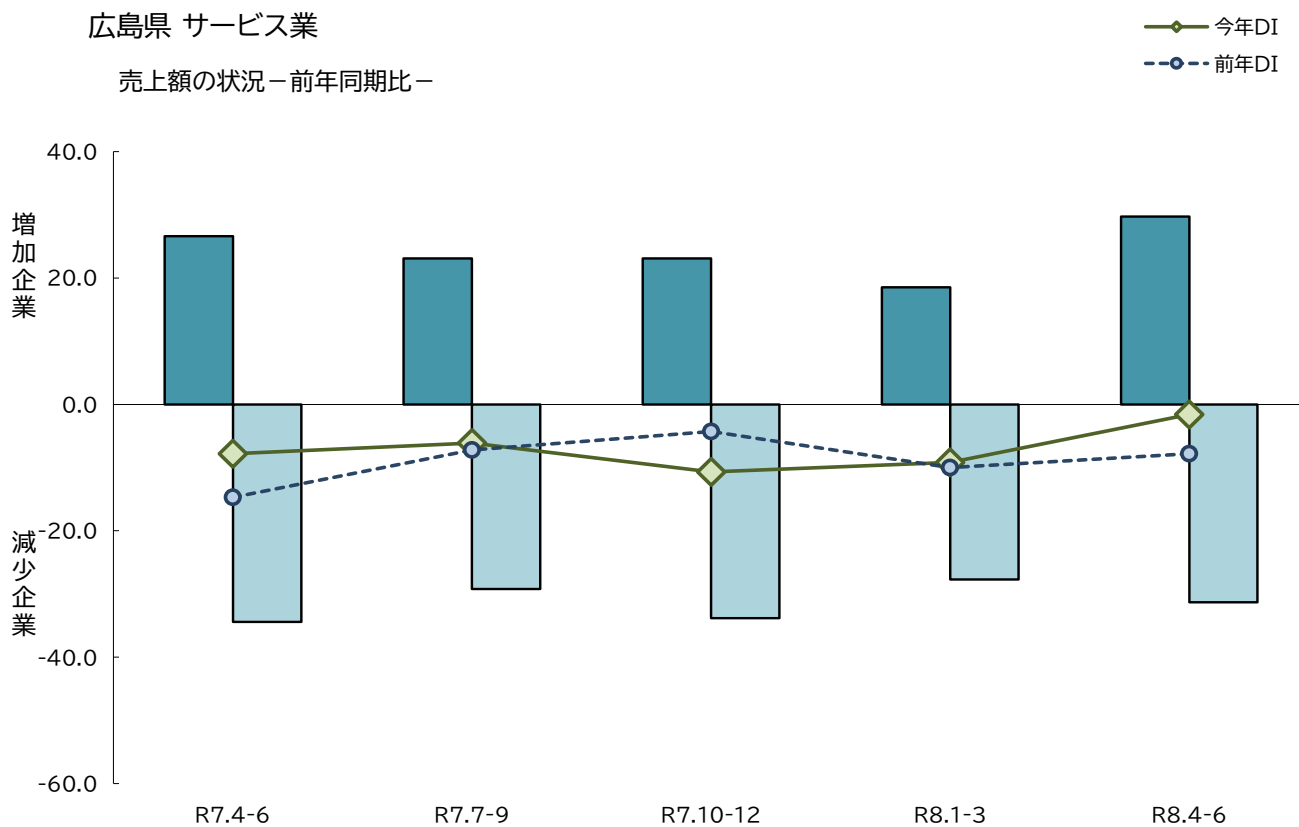
- ・売上は前年を超えているが価格改定を加味すると前年をクリアしておらず、客数は割り込んでいる。イラン情勢の影響で6月から持ち帰り容器が20%値上げになると連絡があった。
- ・値上げをしたので売り上げは伸びましたが、客数は減少してきているように思われます。手がかかる商品が多いので人件費を抑えることがなかなかできず今後見直しが必要かなと思います。
- ・店舗老朽化に対して修繕費用が高く着手できていない。また、各経費が高騰しており、利用料金に転嫁することで売上自体は微増しているが利益率の改善が薄い。
- ・物価の上昇が大きく、商品も入荷が怪しい物もあり大変な状況。工賃等の見直しにより、利益は改善傾向にあるが、作業自体も景気悪化により減少している。
- ・5月まではどうにか乗り切ってきたが、今後のガソリン代、仕入れ価格等の上昇、そしてお客様の購買意欲、お出かけ意欲が薄れて行くのではないかと不安になります。
- ・中東情勢により原油製品、特にオイルの仕入れが困難になっており先行きに不安を感じる。人員が過剰で人件費が高くて利益率を圧迫している。
- ・材料費の上昇を予測して老朽化している物を修理、出費があり収支的には良くない値上げも考えているが時期が先伸ばしになっている。価格も大切だがそれ以上に在店時間の空間の満足度で日常から離れる時間を作るも大切

サービス業（商工会地域）

2. 売上額(加工額) -前年同期比-

広島県 サービス業

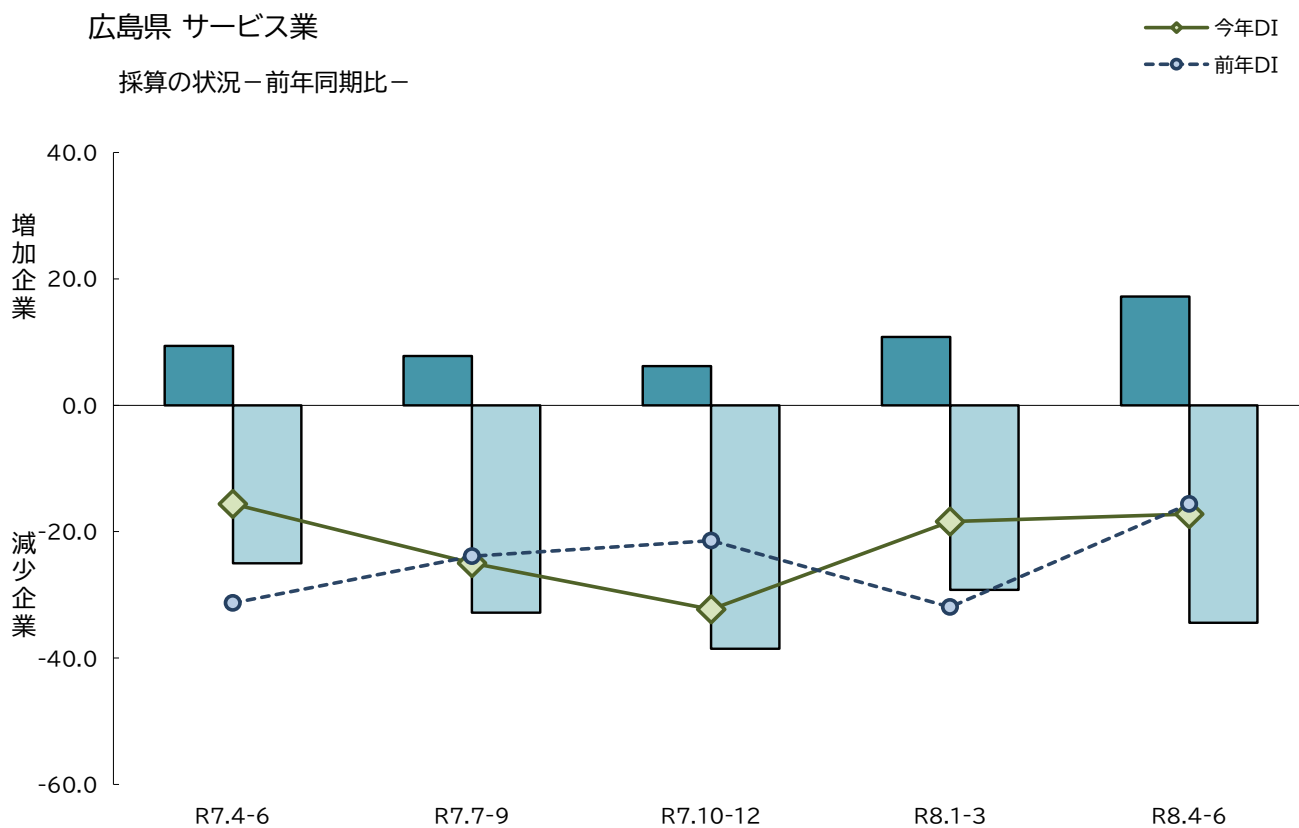
売上額の状況－前年同期比－



3. 採算(経常利益) -前年同期比-

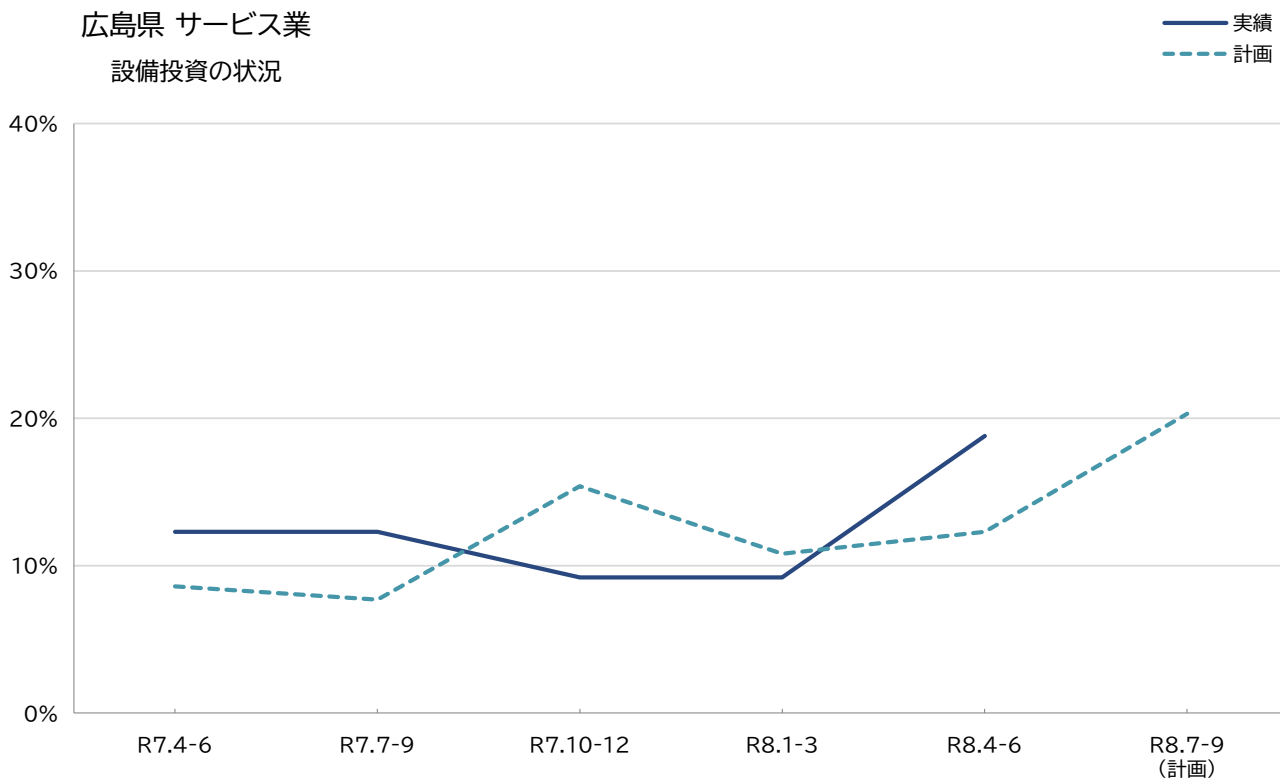
広島県 サービス業

採算の状況－前年同期比－



サービス業（商工会地域）

4. 設備投資の状況



5. 経営上の問題点（1位の問題点・上位5つの推移）

